

授業科目(ナンバリング)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡA (DA421) (実践的教育科目)			担当教員	安藤 佳珠子 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	4年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
この授業の目的は、精神保健福祉士の理念と意義、支援の展開過程、他職種連携について学び、精神障害者が地域で主体的に生活するための具体的実践の方法を知り行うことができるようになることにある。また、ディプロマポリシーにある社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業は、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションによって展開する。そのなかで、学生が精神科ソーシャルワークの知識・技術を、自分の言葉で説明し、他者が理解できる表現の仕方について、具体的に学ぶことも重視する。							①⑤ ⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法			評価比率
専門力	精神保健福祉士の専門性と倫理について、説明することができる。			定期試験			45%
情報収集、分析力	事例について、情報を収集・分析し、支援の方法について、正確に説明することができる。			第1回レポート			15%
コミュニケーション力	授業内で自分の意見を適切に伝えることができる。			ディスカッション内容			10%
協働・課題解決力	ストレングスに基づく個別支援計画をたてることができる。			個別支援計画			15%
多様性理解力	事例について、情報を収集・分析し、ケアマネジメントに基づくプランを正確に説明することができる。			第2回レポート			15%
出席				受験要件			
合計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験は45%で、精神保健福祉士の専門性と倫理について、正確に説明することができるかを評価する。2回のレポート30%では、事例を分析し、支援の方法について説明することができるかを評価する。レポート課題は、第5・7回の授業内で提示し、ポートフォリオにて提出する。さらに、個別支援計画の作成15%、ディスカッション内容10%で評価する。すべての提出物は、次の授業内およびポートフォリオにてフィードバックを行う。							
授業の概要							
精神保健福祉士の理念と意義、支援の展開過程、他職種連携について学び等などについて概説する。授業では、学生には意見を求めたり、議論してもらったり、またグループワークを活用しながら、授業内容の理解を深める。ストレングスモデルに基づく個別支援計画では、受講生同士がペアとなり、精神保健福祉士とクライアントの役割を交互に行い、作成する。受講生は、精神保健福祉援助実習において、個別支援計画を立てることとなっており、自分が支援計画を立ててもらおう立場になることを通じて、ケアマネジメントのあり方について検討していく。担当教員は、精神保健福祉士として精神科病院や、精神保健福祉センター、精神科クリニック、地域生活支援センターなどで精神科ソーシャルワークの実務経験があり、その経験に基づき授業を展開する。また、厚生労働省が定める「精神保健福祉士養成施設等の設置及び運営に係る指針」において、実務経験を有する教員に関して「精神保健福祉士の資格を取得した後、相談援助の業務に5年以上従事した経験を有する者」と規定されており、担当教員は該当する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。							
教科書・参考書							
教科書：精神保健福祉士養成セミナー編集委員会（2017）『精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ・Ⅱ（第6版）』へるす出版 参考書：なし 指定図書：チャールズ・A・ラップ（2014）『ストレングスモデル』田中英樹監訳、金剛出版							
授業外における学修及び学生に期待すること							
① 授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してくること。 ② 出席は最低限のルールとする。 ③ 授業内での居眠りや私語、携帯電話の無断使用などは厳禁とする。また、それらの行為については、教員から注意し、その後も改善が見られない場合は、退室を求める。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 精神保健福祉士の理念と意義①	授業の概要、進め方、評価等を確認する。 国家資格としての精神保健福祉士の意義について説明する。	予習：シラバス及びテキスト 119-128 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
2	精神保健福祉士の理念と意義②	精神保健福祉士の専門性と倫理について説明する。	予習：テキスト 129-150 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
3	精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程①	ソーシャルワークの展開過程について説明する。	予習：テキスト 151-155 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
4	精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程②	ソーシャルワーク面接について説明する。	予習：テキスト 156-161 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
5	精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程③	個別支援について説明する。 第1回レポート課題を提示する。	予習：テキスト 162-176 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
6	精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程④	個別支援について説明する。	予習：テキスト 162-176 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
7	精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程⑤	グループを活用した支援について説明する。 第2回レポート課題を提示する。	予習：テキスト 177-194 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
8	精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程⑥	グループを活用した支援について説明する。	予習：テキスト 177-194 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
9	精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程⑦	地域を対象とした支援と、災害時における精神保健福祉士の役割について説明する。	予習：テキスト 195-219 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
10	精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程⑧	ケアマネジメントについて説明する。	予習：テキスト 232-262 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
11	精神障害者のソーシャルワークと関連専門職種との連携①	チーム医療における精神保健福祉士の役割について説明する。	予習：テキスト 263-269 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
12	精神障害者のソーシャルワークと関連専門職種との連携②	チームアプローチおよび生活支援の理念と精神保健福祉士の役割について説明する。	予習：テキスト 270-285 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
13	ストレングスモデル①	ストレングスモデルに基づく個別支援計画を立てる。	予習：配布資料 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
14	ストレングスモデル②	ストレングスモデルに基づく個別支援計画を立てる。	予習：配布資料 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
15	まとめ	前期の振り返り 課題レポート締切	予習：テキストの後期分を読み返す。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。